

**2022年度**

**認知症にやさしいまちづくりに関する  
アンケート調査報告**

日の出町いきいき健康課

# はじめに

日の出町では、認知症に対する正しい知識の普及・啓発等、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指すことを目的として、令和4年9月に、東京大学大学院医学系研究科と「**高齢者にやさしい地域づくり**」に関する覚書を締結しました。

今後、高齢者にやさしい地域づくりの一環として、町民の皆さまが中心になっていただき、どのような地域を目指すかを考え、その実現に向けた取り組みを共有し、進めていきたいと考えています。

今回、日の出町にお住まいの皆さまの認知症のある方に対するお考えをうかがい、今後の取り組みを生かすために、アンケート調査を実施いたしましたので、結果をご報告いたします。

# 認知症に関するアンケート調査

## 目的

日の出町の皆さまを対象に、認知症のある方との関わりやお考えを明らかにし、認知症があっても安心して暮らせるまちづくりのための取り組みに役立てること

## 方法

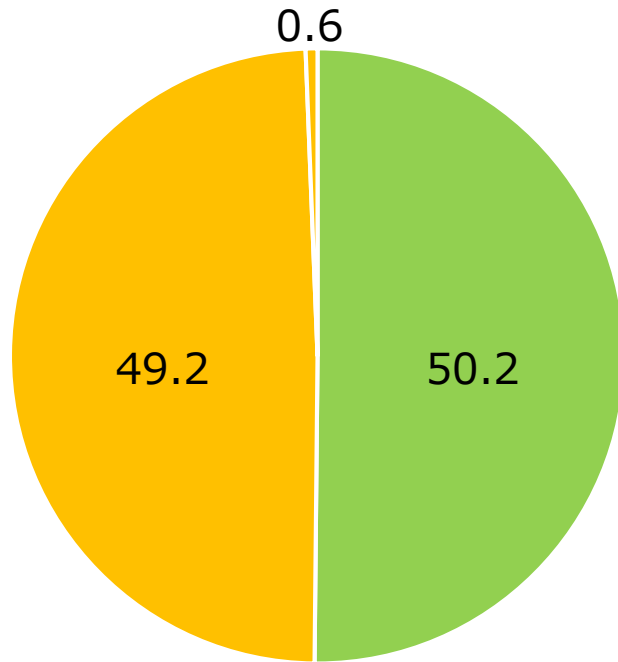
対象者：日の出町にお住まいでワクチン接種会場にお越しになった方のうち、調査協力に同意が得られた 688名

調査方法：匿名のアンケート用紙に回答

調査内容：認知症の人との関わり、認知症の人に対する態度やお考え など

調査期間：2022年11月23日～12月7日

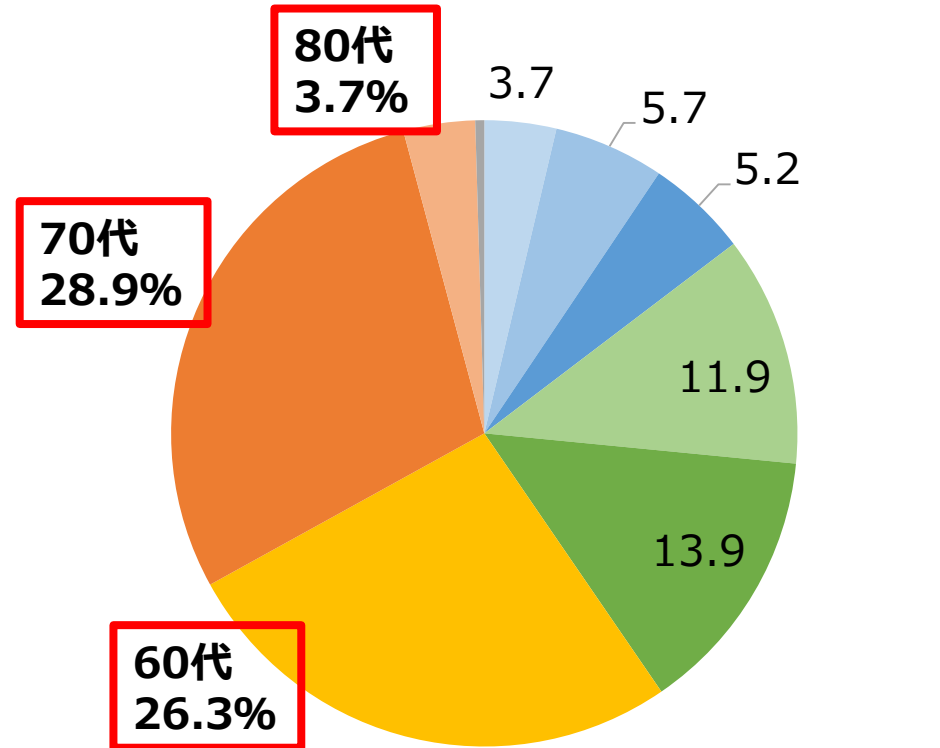
# アンケートにご回答いただいた方の属性①



■ 男性 ■ 女性 ■ 答えたくない

## 性別

女性と男性の割合はほぼ半々

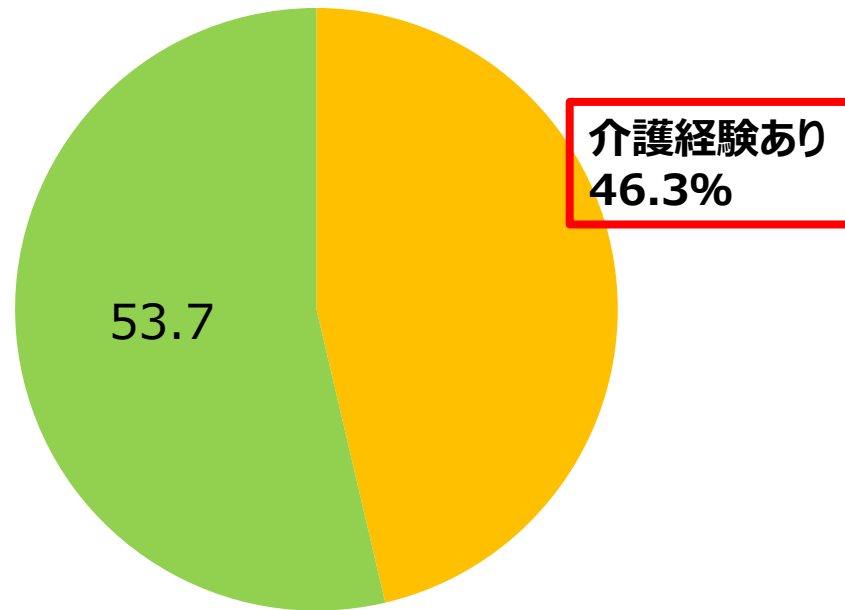


■ 20歳未満 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代  
■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90歳以上 ■ 答えたくない

## 年代

60～80代の割合が約6割を占める

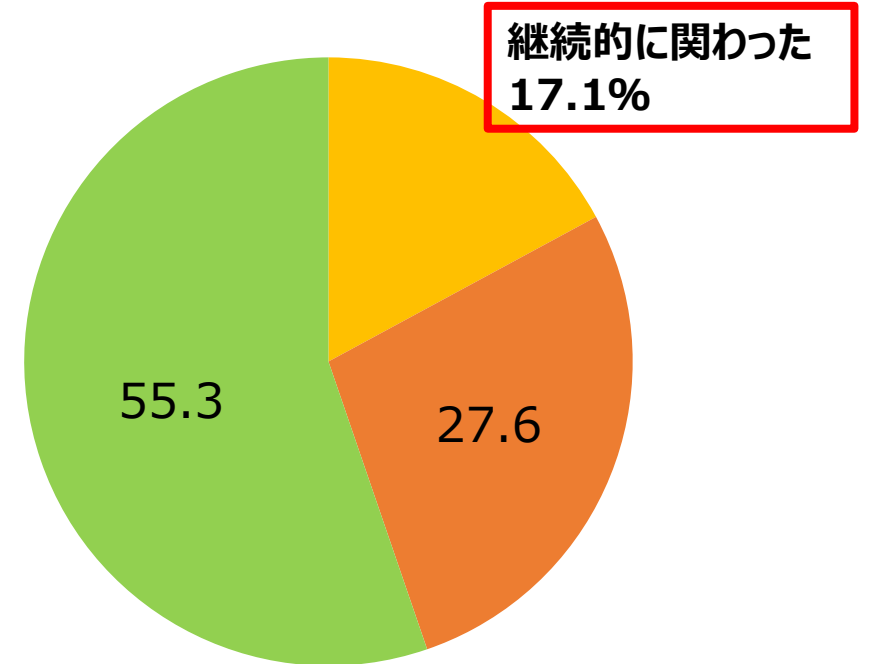
## アンケートにご回答いただいた方の属性②



■あり ■なし

### 家族等の介護経験

家族等の介護経験がある方は5割弱



■継続的に関わった  
■1回もしくは短期間のみ関わった  
■関わったことがない

### 認知症の人との関わり

継続的に関わったことがある方は2割弱

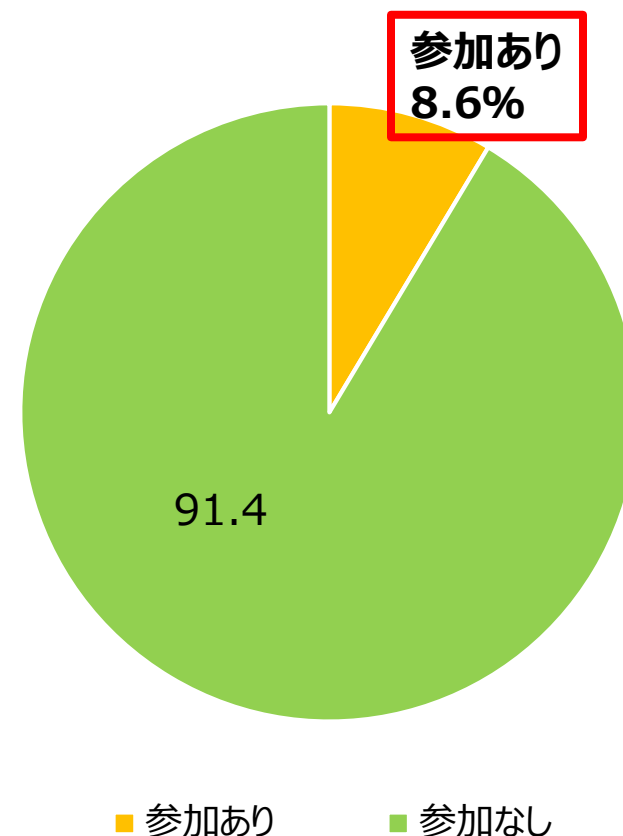
# 認知症サポーター

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援する人です。日常生活の中で認知症の人と出会ったときに、その人の尊厳を損なうことなく、適切な対応をすることが、認知症の人とその家族の支えになります。

※認知症サポーターになるには、「認知症サポーター養成講座」を受講する必要があります。

出典：東京都日の出町HPより

認知症サポーター 『オレンジリング』



## 認知症サポーター養成講座の参加経験

講座に参加したことがある方は約1割

# 地域包括支援センター

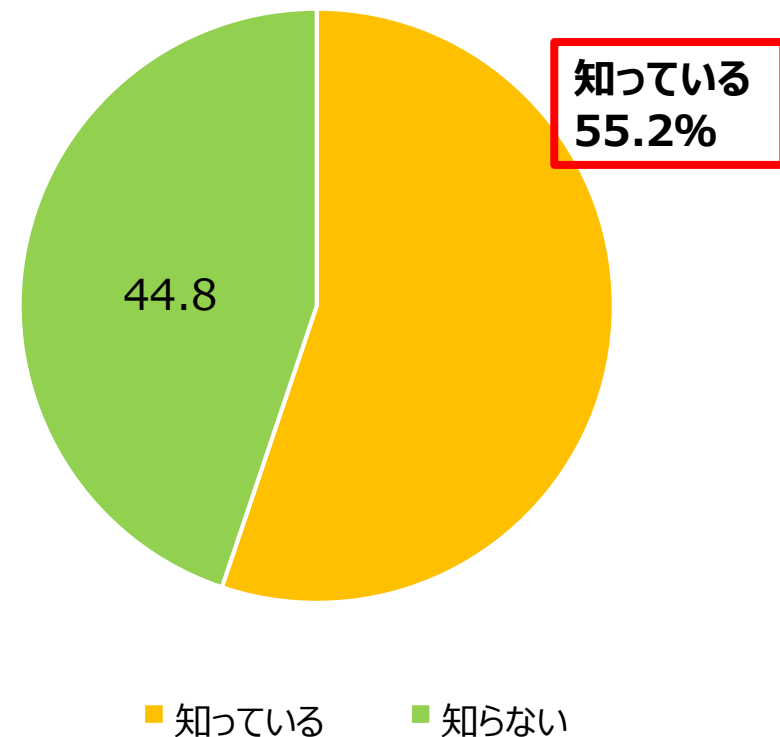
高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続できることを目的に設置されました。

**地域包括支援センターでは、介護保険・福祉サービスの総合的な相談窓口として高齢者の生活を支援するとともに、介護保険の認定申請代行もおこないます。**

出典：東京都日の出町HPより



日の出町 地域包括支援センター



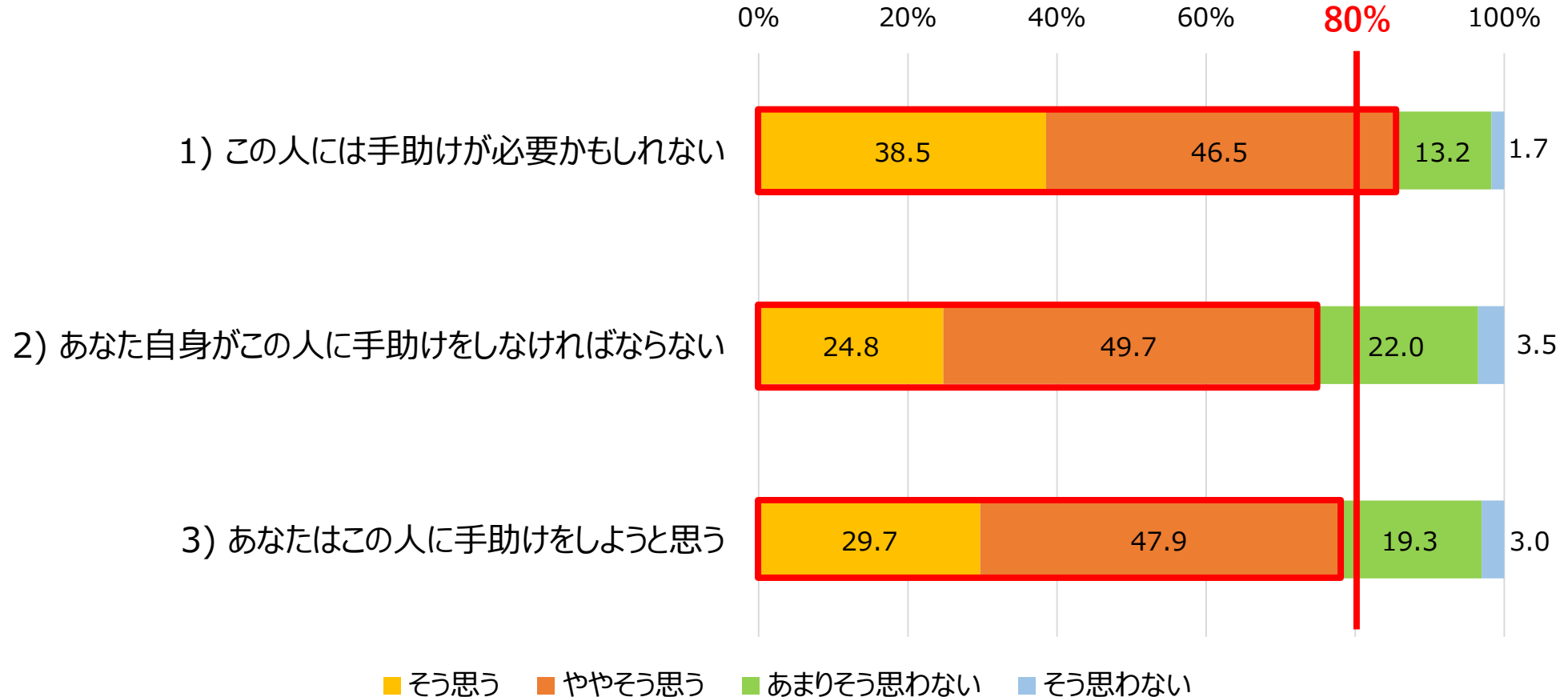
## 地域包括支援センターの認知度

地域包括支援センターを知っている方は半数以上

# 認知症の人への対応（各シーンを想定した回答）

## シーン 1

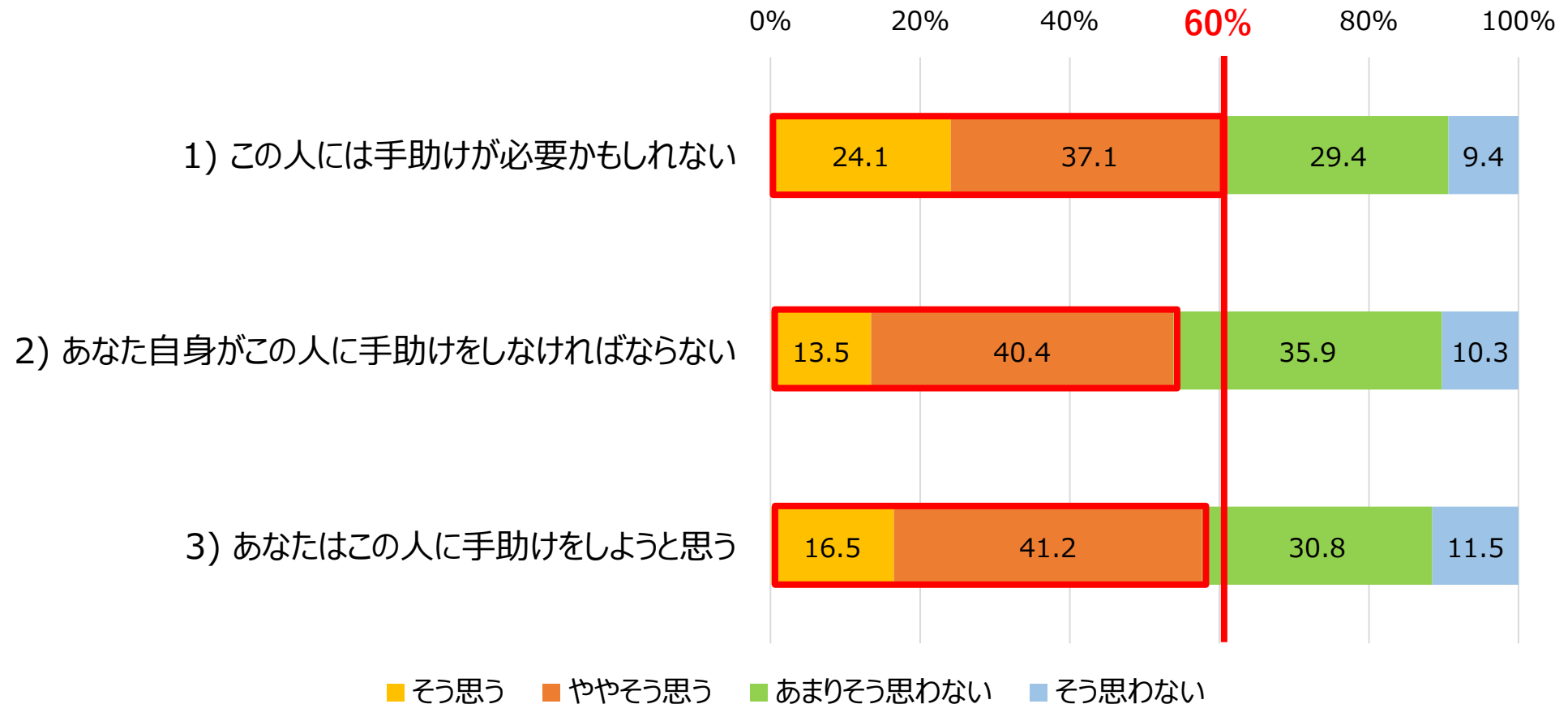
真夏のある日、あなたが近所を歩いていると、コートを着込んだ高齢の女性を見かけました。暑そうにしている様子はなく、女性の顔に見覚えはありません。人通りはまばらにありますが、高齢者を気にしている様子の人は見当たりません。あなたにはこの後、急ぐ予定はありません。





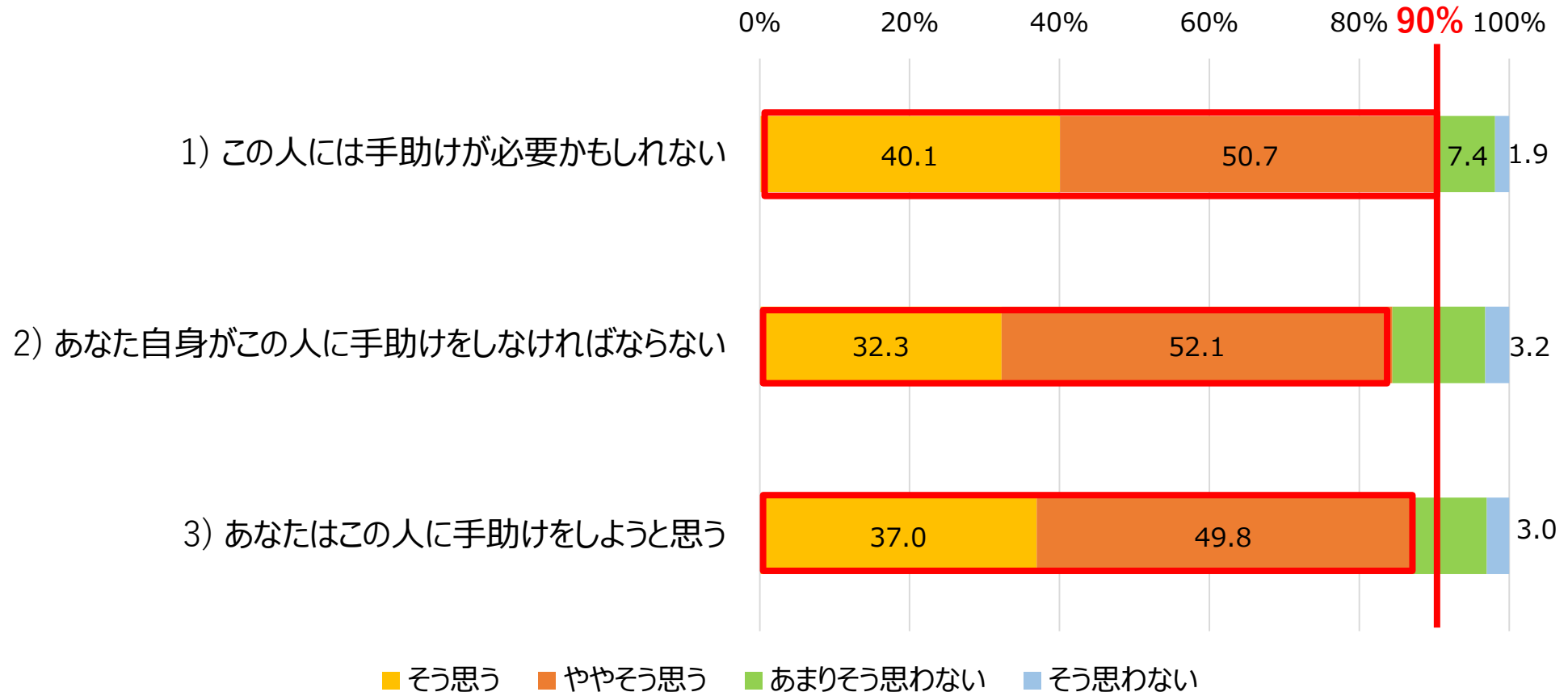
## シーン 2

あなたは、スーパーの店員をしています。常連の高齢女性が、今日の午前中にバナナを 2 袋買いに来たにも関わらず、また今日の夕方もバナナを2 袋買いに来ました。この方は昨日も 2 回来店し、バナナを買って帰りました。身なりに変わった様子はありません。



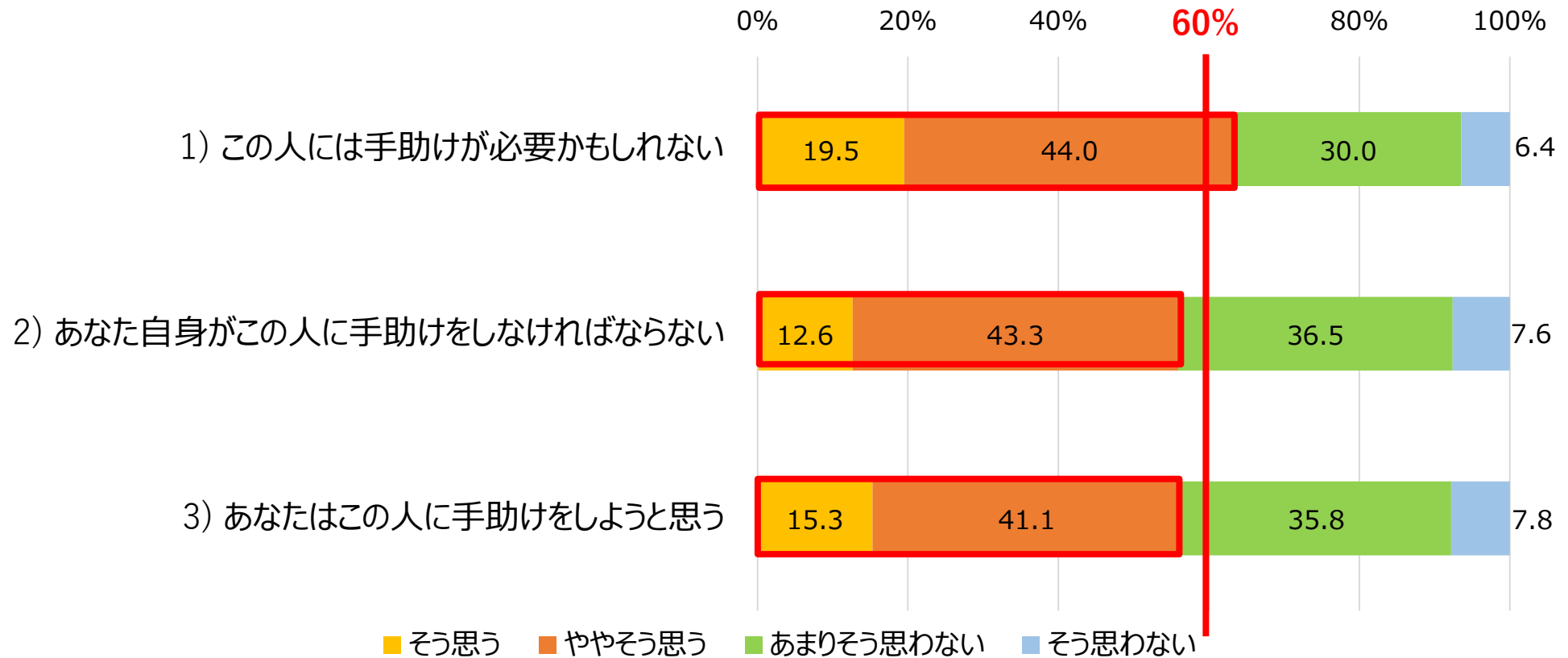
### シーン 3

あなたが近所を歩いていると、高齢の女性が周囲を見渡しながら不安そうにウロウロと歩いています。女性の顔に見覚えはなく、身なりに変わった様子はありません。あなたにはこの後、急ぐ予定はありません。



## シーン 4

あなたがスーパーで買い物をしていると、高齢の女性が、買い物かごに総菜の揚げ物を大量に入れていました。あなたは女性と話したことはありませんが、近所に一人で暮らしていることは知っています。女性の身なりに変わった様子はありません。あなたにはこの後、急ぐ予定はありません。



# 認知症の人に対する態度：日の出町と他の地域の比較

## 認知症のある人に対する態度尺度\*

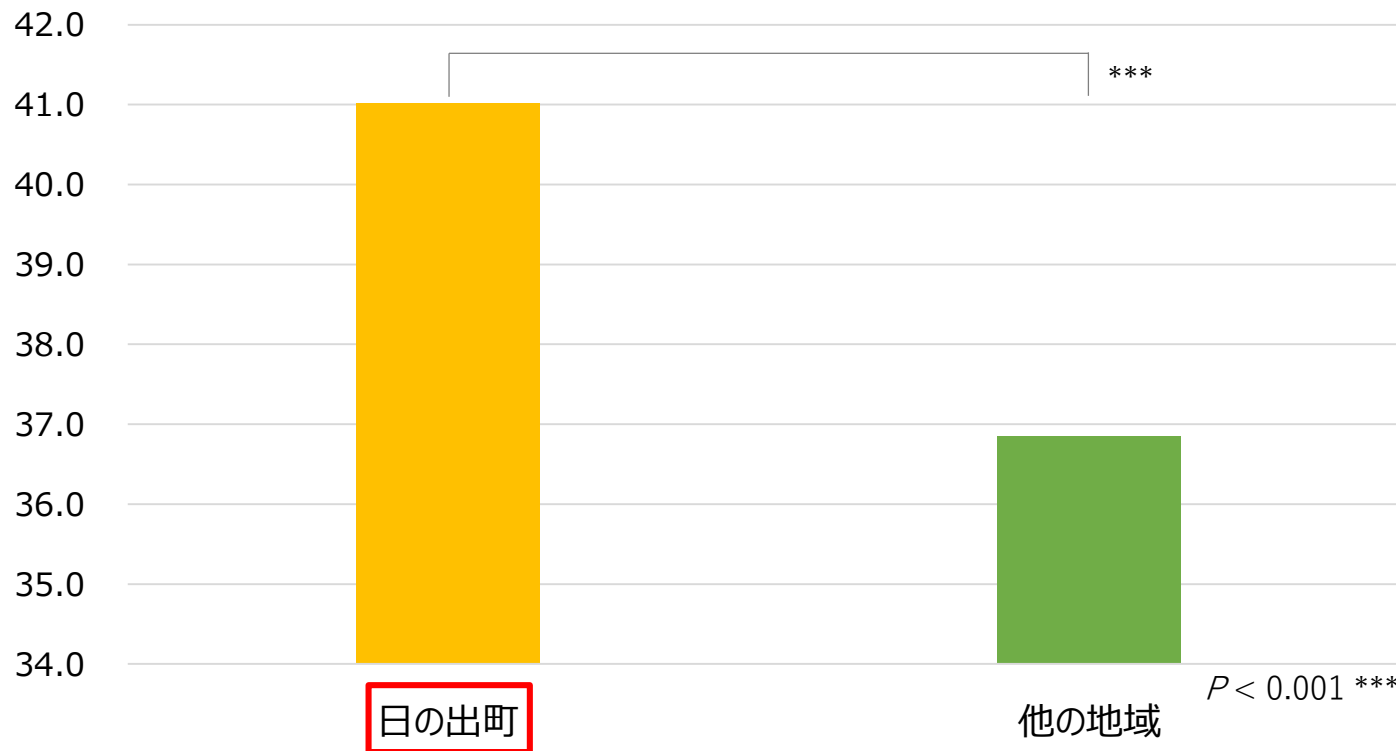
全14項目を「そう思わない」～「そう思う」の4段階で評価（14～56点）

点数が高いほど、認知症のある人への肯定的な態度を示す

下位指標：①寛容、②拒否、③距離感、④親近感

\*金ら. (2011). 認知症に関する態度尺度と知識尺度の作成.  
社会医学研究, 28(1), 43-55.

認知症の人に対する態度（合計点数）

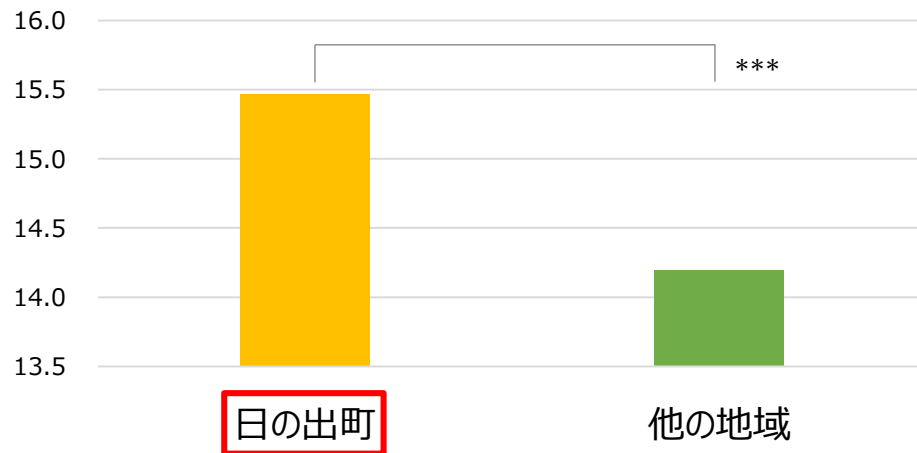


日の出町の方は、他の地域の方と比べて  
認知症の人に対する態度の点数が高い  
→ **認知症の人に対して肯定的**

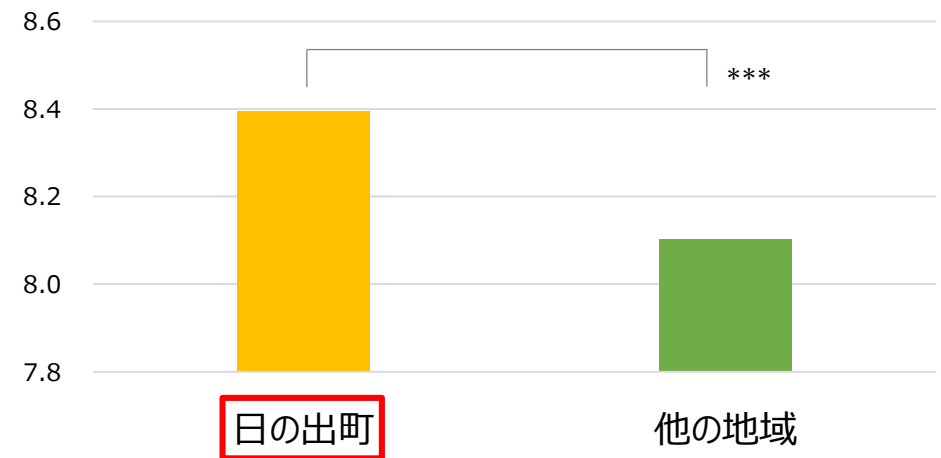
※2020年に行ったWEB調査

# 認知症の人に対する態度：日の出町と他の地域の比較

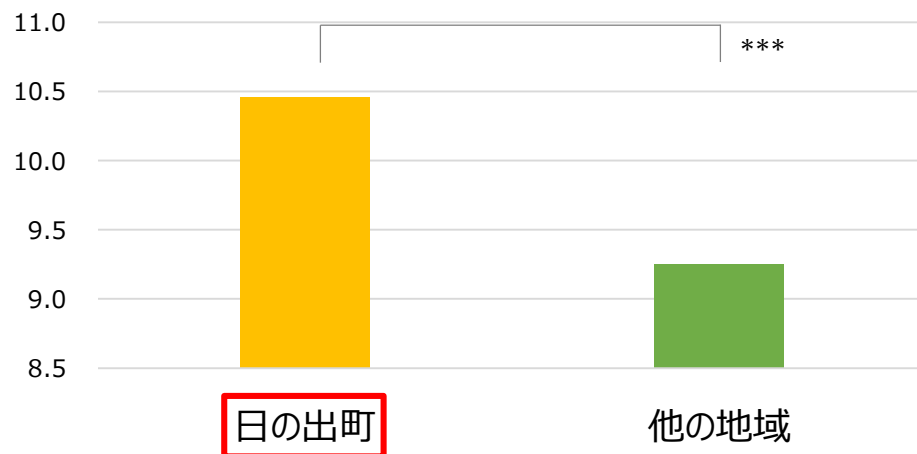
① 認知症の人に寛容であること（寛容）



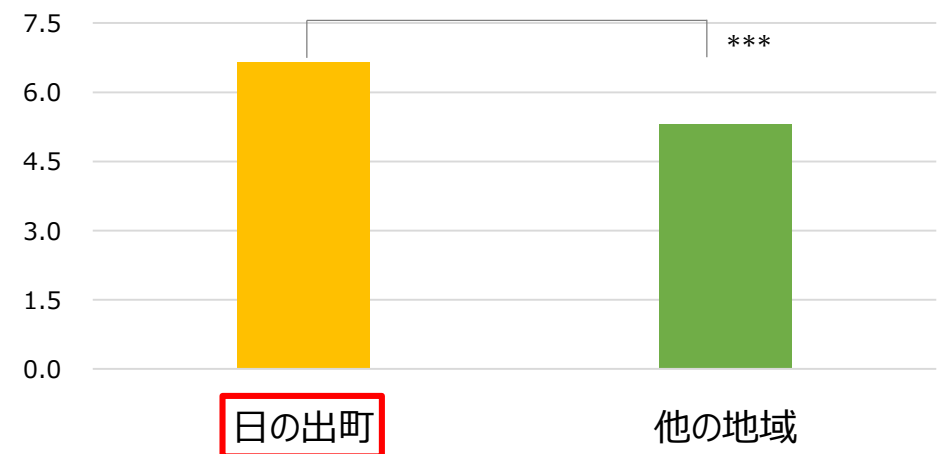
③ 認知症の人と距離が近いこと（距離感）



② 認知症の人を拒否しないこと（拒否）



④ 認知症の人に親しみをもつこと（親近感）



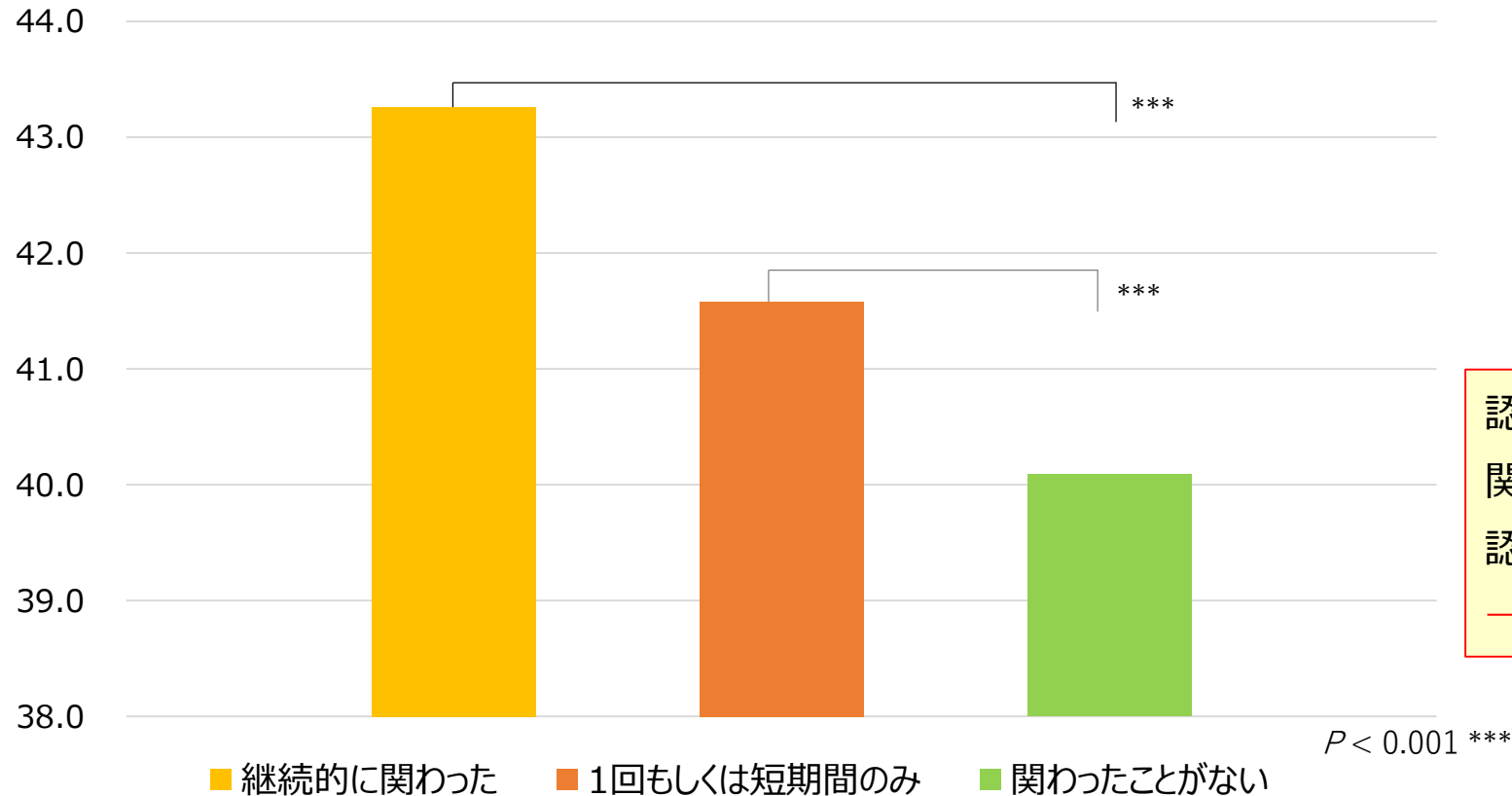
# 認知症の人に対する態度：調査結果（日の出町）の特徴

## 認知症のある人に対する態度尺度\*

全14項目を「そう思わない」～「そう思う」の4段階で評価（14～56点）  
点数が高いほど、認知症のある人への肯定的な態度を示す

\*金ら. (2011). 認知症に関する態度尺度と知識尺度の作成.  
社会医学研究, 28(1), 43-55.

## 認知症の方との関わり



認知症の方と関わった経験がある人は、  
関わったことがない人と比べ、  
認知症に対する態度の点数が高い  
→ **認知症の方と関わる大切!**

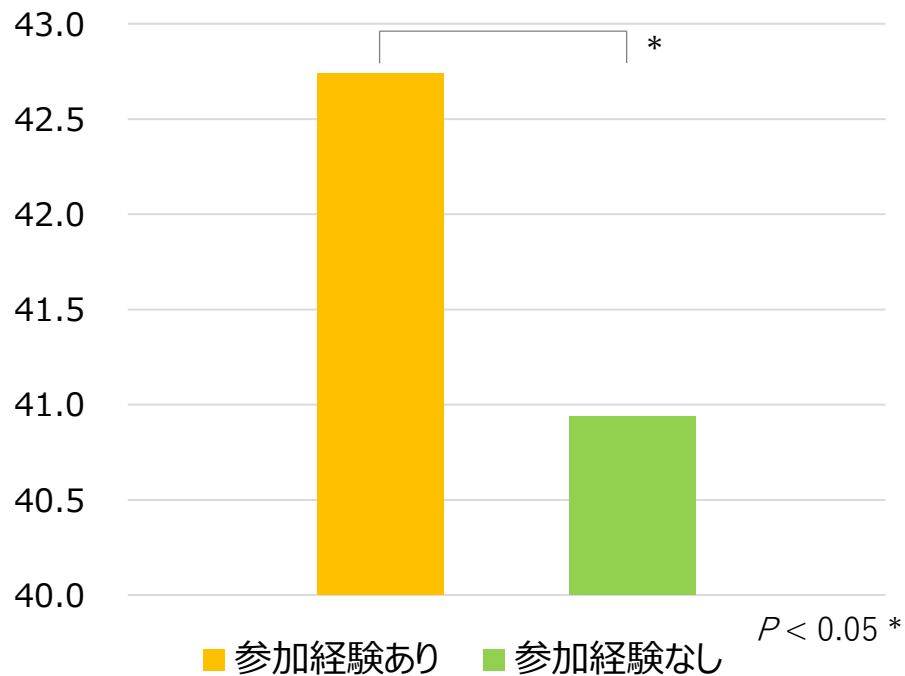
# 認知症の人に対する態度：調査結果（日の出町）の特徴

## 認知症のある人に対する態度尺度\*

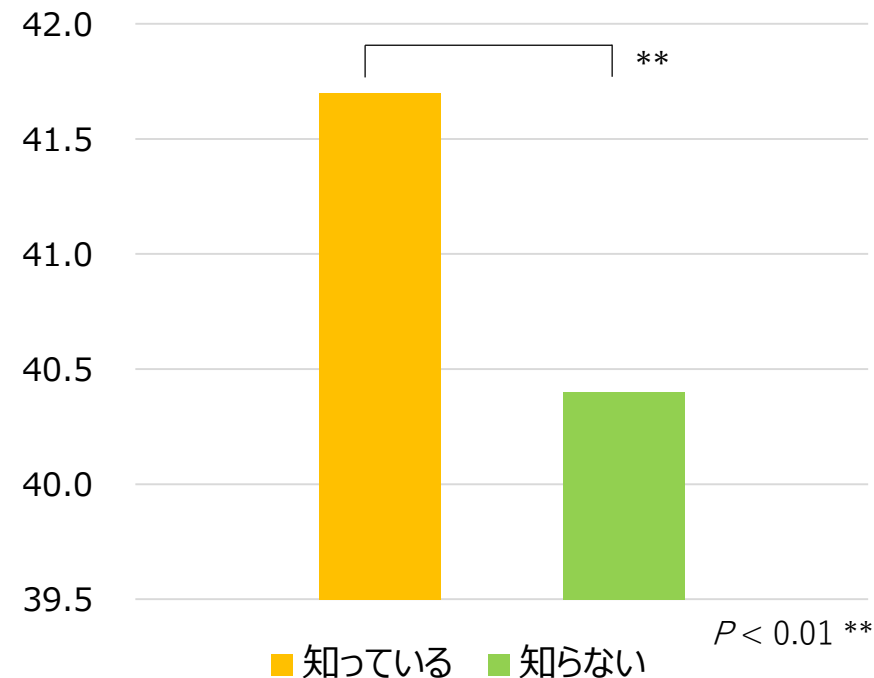
全14項目を「そう思わない」～「思う」の4段階で評価（14～56点）  
点数が高いほど、認知症のある人への肯定的な態度を示す

\*金ら. (2011). 認知症に関する態度尺度と知識尺度の作成.  
社会医学研究, 28(1), 43-55.

### 認知症サポーター養成講座



### 地域包括支援センター



認知症サポーター養成講座の参加経験がある方・地域包括支援センターを知っている方の点数が高い

→ **認知症に関する正しい知識を学び、サポートについて知ることが必要**

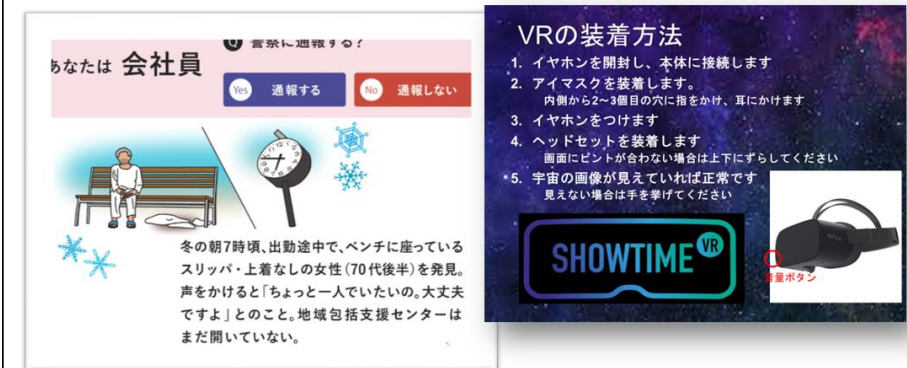
# おわりに

- （他の地域の方と比較して）日の出町の方は、認知症のある方に対して肯定的な態度をもっている可能性が示されました。
- 認知症に関する正しい知識やサポートについて知っていただくことで、認知症のある方に対する理解がさらに深まり、認知症のある方が暮らしやすいまちづくりにつながります。

日の出町では東京大学と協力し、住民の皆さまと一緒に「認知症にやさしいまちづくり」のための様々な取り組みを進めていきます。どうぞご参加ください。

## 「認知症サポーター養成講座」と VR体験ができる認知症講座

主催：東京大学大学院 高齢者在宅長期ケア看護学分野



あなたは 会社員

あなたは 会社員

冬朝7時頃、出勤途中で、ベンチに座っているスリッパ・上着なしの女性(70代後半)を発見。声をかけると「ちょっと一人でいたい、大丈夫ですよ」とのこと。地域包括支援センターはまだ開いていない。

VRの装着方法

1. イヤホンを開封し、本体に接続します
2. アイマスクを装着します。  
内側から2~3個目の穴に指をかけ、耳にかけます
3. イヤホンをつけます
4. ヘッドセットを装着します  
画面にピントが合わない場合は上下にずらしてください
5. 宇宙の画像が見えていれば正常です  
見えない場合は手を挙げてください

SHOWTIME VR

音量ボタン



# 認知症があっても 自立して生活できる街づくり



ご覧いただきありがとうございました。